

131

研-0613

支商普通一六九

昭和十九年四月廿八日

昭和十九年四月廿二日  
昭和十九年四月廿二日

次官

文部事務局長

文書課長

經濟課長

理財課長

總務課長

商工課長

山中潤吉

蒙疆製紙股份有限公司増資

二関スル件

張家口公使宛

大臣名

昭和十九年一月十二日附張大経普通第九一号ヲ以テ

稟請ニ係ル首題ノ件左記條件ニテ承認方可然

取計ハレ度

一 所要資金ハ興テ現地調達トスルコト



抄

張大經普通第九一號

昭和十九年一月十三日

在張家口大日本帝國大使館事務所長  
特命全權公使 岩崎 氏

大東亞大臣 青木 一男 殿

商第16号  
19. 1. -2



蒙製紙股份有限公司増資ニ關スル件  
首題ノ件ニ關シ蒙古政府ヨリ別紙寫ノ通連絡有之タルニ付テハ認可セシ  
度此致申進ス  
追而本件ハ過般當方門脇總務部長上京貴方係官ノ諒解ヲ得置キタルモ  
ノナルニ付爲念  
尙本件ニ關スル内地ヨリノ導入既被一荷爲替付輸入ノ改造費、何若  
費、神戸迄輸送當スルニ要スル内地資金二百萬圓（内地ニテノ徵收ノ

19. 2. 2  
東亞信

興亞院蒙疆連絡部

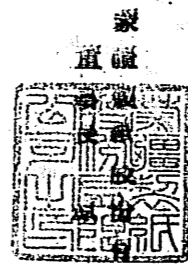
興亞院蒙疆連絡部

金額一ハ特ニ本年度蒙疆内地資金期待計畫雜産業除外ニテ賄ハレ度

研-0613

成紀七三八年十月 日

蒙古自治邦政府  
經濟部 出 汝 瑞 敬



有限公司



增資御認可申請ニ關スル件

拜啓 茲々御清鑑之致奉大寶候

陳省令被拜公司資本金九萬五千圓ヲ壹千圓ニ増資致度存付候ニ付得別  
御座候ヲ以テ御認可相成度別紙理由書五部付添へ此致及申請候也

敬 具

研-0613

増資理由書

三菱製紙股份有限公司

「公司ノ沿革

本公司ハ成紀七三八年三月二十九日經濟部指令第一二八號ノ御認可ニヨ  
 リテ同年四月十九日設立ニカカリ蒙シニ於ケル唯一ノ製紙工場タリ  
 當初ノ計画ハ極メテ小規模ノ製紙工場トシテ幾足ヲ見タルモ其後時局ノ  
 伸張ハ感々殊ヲ汚ケ紙ノ更命亦重大トナリ只ニ蒙シ現任及ビ將來ノ  
 需要ヲ尤スニ止ラズ戦力増強ノ一翼トシテ將亦經濟文化ノ先驅者トシテ  
 ノ更命運成ヲ進進ナカラシムル如キ計画ノ實現ヲ強ク要請サル  
 茲ニ於テ弊社ハ重役陣ノ改組ヲ行ヒ資本ノ増加・増充・計画ノ強化擴大  
 ノ企圖シ生産能力ニ於テ亦ソノ規模ノ大・内容ノ完備・設備ノ優秀サニ  
 於テモ華北ノ併小製紙ヲ被キ東洋製紙天津工場ニ次グモノトナル  
 工場敷地ハ工業立地ノ點ヨリ且水足河畔ニ五里坪ノ地ヲ約シ内地ノ  
 汚逐休設備ノ買収ニ成功シバルフ及ビ紙ノ一貫製造可能ニシテ之レガ利  
 用設備一式在委ノママ人手セルヲ以テ現地ニ搬入ノ費ハ速カナル備付  
 沙道開始期待サル目下内地ニ於テ解体荷運リラ着々進メツツアリ近ク

出許可人手ノ上ハ積出ノ手續準備中ナリ  
 抄紙機ハ三台、<sup>九十一</sup>九十一時丸網ヤンキー、<sup>七十五</sup>七十五時長網フオドリニヤ一各  
 一基ソノ稍就ヲ誇ル之等ハ凡テ來年三四月頃迄ニ宣化ニ搬入ヲ終リ四月  
 ヨリ工場本通業ニ着手シ八月竣工九月ニハ開始ヲ了シ沙道開始ノ決定ナ  
 リ  
 之レニ要スル資金・建設資材原料等ノ確保ニツイテハ時局柄益々困難  
 加重ヲ感得サルモ弊社ハ幸ヒ天津東洋製紙ノ積極的援助ヲ得テ資金・  
 設備・資材ノ供出ヲ得ルノ利便アリサリ乍ラ多ク之レニ期待シ得ズ現  
 地備蓄助ノ絶大ナル御支持ニヨリテ之等資金ノ擴充・原資材ノ確保ヲ仰  
 グニ非ザレバ斯ノ時局下到底建設完遂ヲ期シ得ザルハ多言ヲ要セザル處  
 ナリ等此ノ難局ヲ克ク認識シ軍官民一致協力ノ御支援ニヨリテ萬難ヲ  
 排シ使命ノ遂行ニ邁進シ以テ蒙シニ於ケル經工業振興ノ一助タラントス  
 公司ノ概要

本館並ニ工場

宣化省宣化

事務所

神戸市神戶區海岸通り五番商船ビル内  
 瀧塚口市東安大街二三號

役員 原野茂一

常務董事 横田 豊

監 査 小田 萬藏

長谷川 正一

竹内 象藏

監察人 山口 郁二郎

李 受 之

(以上登記申請中)

増資ノ理由

本公司ノ資本額並ニ資金計畫ヲ現時ニ改訂スベキハ御認可ノ條件デモアリ  
前項ニ説明セル如ク建設計畫ノ飛躍的擴大ニ伴ヒ資金ノ必要額大ニ是  
レヲ成紀七三七年十月一日附ヲ以テ提出セル弊社設立許可申請書ニ明記  
セル建設豫算ニ比較スレバ左ノ如シ

舊豫算 新豫算

土地建物其他用水工作物 二五九、〇〇〇 四、〇五〇、〇〇〇

主要機械設備 四八六、〇〇〇 二、八八〇、〇〇〇

改造費、不足品代、解体  
荷造費、運賃、保送料  
備付費ヲ含ム

「創立資 五、〇〇〇 七〇、〇〇〇

「營業運轉資金 二〇〇、〇〇〇 三、〇〇〇、〇〇〇

計 九五〇、〇〇〇 三、〇〇〇、〇〇〇

(詳細ハ添附新舊豫算目録見書御参照)

以上ニ於テ明カナル如ク莫大ナル豫算超過トナリシハ主トシテ計畫ノ建  
更ニ革クモノナルモ近時一般物價ノ暴騰ハ建設資材、機械、工作物、建  
築費、運賃等諸掛リノ異常ナル値上リヲ招來シタルニ因ルコト多シ。然  
リト雖モ建設費ノ増大豫算ノ超過ヲ欲レテハ使命ノ達成ヲ期シ得ザルヲ  
以テ打算ヲ超過シテ之等懸掛許ヲ克服シ時局ノ變遷ニ應エントスルモノ  
ナレバ事南御参酌ノ上格別ノ御諒察ヲ以テ本件御許可相賜度懇願スル次  
第ナリ

工場設備ノ擴大

最初ノ計畫ハ抄紙機一合ヲ以テ原質ノ設備ヲ除キバルブ紙屑ヨリ紙ヲ抄造スルヲ止リシガ所クテハ聚醜地區内ニ必要ナル紙類ヲ産シ得ルニモ品種的ニモ充シ得ザルコトト前項説明ノ如キ事情トハ計畫ノ發展的發展的變更ヲ餘儀ナクシ和洋紙何レノ品種モ抄造可能ナル抄紙機二合トバルブ自給ヲ期シテ原質設備一式ヲ移設シテ之レガ要請ニ備エントスルモノニシテ之レガタメ機械代設備費等ノ増大ヲマヌカレズ増費ノ必要急迫スサレド當初ノ計畫ニ從ヘバ年産三百三十萬封度新規計畫ハ優ニ千萬封度ヲ超エ聚醜地區内ノ紙類自給自足制ノ確立ヲ期シ得ルハ勿論將來ノ需要ノ激増ヲ考慮ス入レテモ直水且ツ十分ニ餘力アリテ他地區ニ供出可能ナリ

(添附新舊事業目録見替所載機械設備比較圖參照)

借入金ノ返済

目下建設資金或ハ機械購入資金トシテ流用シツツアル借入金ハ本件御許可後拂込金ヲ以テ返済ニ當テルモノトス

増資ノ方法

九百九拾萬五仟圓ノ拂込ヲ了シ壹仟萬圓金額拂込ノ會社トスル

新株ノ拂込ハ新株主ニ於テ本件御許可後直チニ二割ニ分割拂込ヲ了スルモノトス

所要資金調達明細左ノ如シ

株主名	住	所	特株數	金	額	拂込地
原野 茂一	北京内六區黃化門大街二二號		九〇、〇〇〇株	四、五〇〇、〇〇〇		蒙
東洋製紙工業株式會社取締役會長						
小田 萬藏	天津灰堆鐵		五〇、〇〇〇	二、五〇〇、〇〇〇		內蒙
長谷川 正一	唐山市聯合區上節井通六丁目一八		二〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇		內蒙
額田 要	張家口市東安大街二三號		一〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇		蒙
李 受	北京市東四區錦胡同四四號		一〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇		蒙
小田 萬藏	神戶市葺合區瀧池通二丁目八		九、〇〇〇	四五〇、〇〇〇		內蒙
竹内 象藏	天津特別市漢南路十八號		九、〇〇〇	四五〇、〇〇〇		蒙
山口 郁二郎	天津灰堆鐵		二、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇		蒙
合計			二〇〇、〇〇〇株	一〇、〇〇〇、〇〇〇圓		

其ノ他

重要事項ナシ




事業目録見番 (新)

一 本町並工場 家直化省直化

一 振込口事務所 振込口市東安大街二三號

一 營業簿別 紙及ビバルフ製造販賣並附帶業務

一 商 號 家直製造股份有限公司

一 資 本 壹千圓  株式会社

一 事業計畫ノ内容及目的

家直地内ニ於テ必要ナル紙類製造ノ為メ九五時丸網ヤンキー及七六  
時フオードリニヤ各一機ヲ設備シ之レニ伴フ附屬設備一切並ニ建築  
ヲ建設セントス

一 所 要 資 金 壹千圓

一 代 表 者 家直製造股份有限公司

董事長 原 奇 茂 一

説 明 書 類

一 總 説

二 資 金 調 達 方 法

三 機 械 明 細 並 入 手 方 法

四 建 設 地 並 株 式 明 細

五 原 材 料 採 入 地 並 方 法

六 製 造 並 販 賣 ノ 方 法

七 建 設 概 要

設備内容一覽表

土地略圖、工場配置圖、事務所見取圖

建築物造概要

原材料所製一覽表

製造工程圖

一 趣 意

從來蒙讓地係ニ於ケル紙ノ需要ハ專ラ華人ニ依リ充足シ來レルモ之レガ供給地タル日本及華北ニ於テモ時局ノ進展ト共ニ益々杜傷ノ度ヲ加ヘ蒙讓地係ノ供給ハ激減ノ一途ヲ辿リツツアリ斯クテハ戰時下蒙讓ノ發展經濟文化伸張上ニモ支障ヲ來スニ至レルヲ以テ該現地目給目足ノ體制確立ヲ照眉ノ級務トシテ要望サルル所以ナリ

茲ニ於テ當社ハ先ニ該地所アリ願書提出中ノ處昭和十八年三月二十九日附經濟部指令第一二八號ヲ以テ製紙事業經營ノ御認可ヲ受ケ爾來該地之カ實現ヲ期シ事業計畫ヲ進メ既ニ工場建設地蒙讓察南省宜化ニ於テ用地ノ買収ヲ完了スルト共ニ一万余内地ニ於テハ製紙設備ノ物色ニ努メタル結果同社所任富士紙業株式會社今泉工場ノ遊休設備一切ヲ買収スルコトニ契約成立セリ之レヲ速ニ現地ニ移設シテ概不年壹千萬封度ノ紙類ヲ抄造シ單官特需ヲ充足スルハ勿論一殺民需用ニモ供給シ以テ蒙讓地係目給目足確立ニ寄與セントスルモノナリ

二 資金調達方法

事業資金 七〇〇〇〇〇〇圓

運轉資金	三〇〇〇〇〇〇圓
台 計	一〇〇〇〇〇〇〇圓
調達方法	金額内地・華北・蒙讓ニテ調達ス
株式拂込	一〇〇〇〇〇〇〇圓
台 計	一〇〇〇〇〇〇〇圓

三 設備明細並入手方法

(1) 機材明細別表明細表御参照

(2) 入手方法

中古品證明書要證明ニヨリ轉用證明ノ入手ヲ了シ輸出許可申請ヲナシ現地ニ搬入スルモノトス

目下輸出許可申請中

備送ハ尙爲管手形ニテ決済



原材料所要一覽表

蒙疆製紙股份有限公司

抄紙機備別	一號機		二號機		合計	摘 要
	日 産	年 産	日 産	年 産		
生産高	15,000	5,000,000	15,000	5,000,000	10,000,000	
原料	破布麻屑 10%	2,000,000			2,000,000 (900吨)	
	ソノ他/代用纖維 30%	3,780,000	3,780,000		7,560,000 (3,400吨)	稻ガラ・キビガラ・葦・アモガサ具ノ他
	紙 屑 10%		1,250,000		1,250,000 (600吨)	ニターパルプヲ含ム
	パルプ 50%	3,180,000	3,180,000		6,360,000 (3000吨)	木材パルプノ外葦・豆桿・ケンバガスタヲ含ム
薬品	石 灰 1%	200,000			200,000 (100吨)	
	苛性ソーダ 5%	189,000	189,000		378,000 (170吨)	
	曹 達 灰			200,000	200,000 (100吨)	
	硫酸バント 松 脂			100,000	100,000 (50吨)	
	晒 粉 晒 粉	100,000貫			500吨 100,000貫	自家製培
染料	25,000	25,000		50,000 (20吨)	高級染料ヲ含マス	
荷造材料	當 板	17,000枚	17,000		34,000枚 (別添紙オ)	
	常 鐵				60 吨	
	ワナガムテープ				自家製	
油脂類	シリンダー油 トランス油				12罐(大) 12罐	
	マシ ン 油				50 "	
燃料	石油・ガソリン				20罐(小)	
燃料	石 炭				12000 吨	
註 就業日時 一日 20時間 月 28日 年 330日 一號機 四六判 毛邊判 } 横二枚ドリ 二號機 四六判 ハト判 } 縦二枚ドリ						

研-0613

建設地並保式明細

建設地並保式明細  
 建設地並保式明細  
 建設地並保式明細  
 建設地並保式明細

建設地並保式明細  
 建設地並保式明細  
 建設地並保式明細  
 建設地並保式明細

建設地並保式明細  
 建設地並保式明細  
 建設地並保式明細  
 建設地並保式明細

原材料購入並方法

原料名	数量	単價	金額	備考
紙布	九〇〇屯	五〇〇圓	四五〇.〇〇〇	現地調辨
紙布	三四〇〇屯	二〇〇圓	六八〇.〇〇〇	
紙布	六〇〇屯	五〇〇圓	三〇〇.〇〇〇	
紙布	三〇〇〇屯	一〇〇〇圓	三〇〇.〇〇〇	滿洲、朝鮮、台灣 期待

紙布、紙屑、紙屑等ハ蒙疆地區内ニ於テ蒐集調達シ所要数量確保ノ見込十分ニシテ將來増築ヲ期待サル

紙屑ニ「ターバル」ハ百貨取扱店ニ命ジ蒙疆地區ノ主ナル都市ニ「ターバル」ノ設置ヲナシ之等ノ徹底的蒐集ヲ圖リ所要量ノ確保ヲ期シ得レリ

其他ノ代用纖維ニツイテハ黄河沿岸其ノ他ニ蒙成セル草ヲ主原料トシ齒ワラ、キビガラ、アヘンガラ等ノ纖維ヲ取付シ出來得レバ蒙疆地區内ニ野生スル細木ノ部下ゲヲウケバルヨリ紙ヘノ一頁作業ヲ行ヒ原料ノ確保生産原價ノ低減ヲ計ル方針ナルモ初年度ハ之レガ蒐集ノ方法、破入ノ方法等詳カナラザルヲ以テ比較的多少對請對朝鮮ヘノ輸入バルブニ依

存シ居ルハ遺憾トスル處ナルモ必ズヤ將來前記地内産ノ原料ヲ以テ織  
入バルフニ管ヘ依存ノ虞ヲ軽減シ得ル自信アリ

六 製造並ニ販賣ノ方法

1) 製造ノ方法

破布流滑等ハ石灰處理ニヨリソノ能ノ代用纖維ハ奇性又ハ曹達灰上ヨ  
リテ處理シテハルフ化シ紙屑・ニードーバルフ・織入バルフ等ヲ紙ノ  
種類ニ應ジテ取合シ適當ナル紙料ヲ作り用途ニ應スル藥品効果ヲ與ヘ  
所製ノ紙類ヲ砂選スルモノトス  
製造工程ヲ示ヤバ左ノ如シ

研-0613

0306

四 販賣ノ方法

自家販賣又ハ監督自認ニ於テ指示セフレタル機構ニヨリ販賣業者ニ委託販賣スルモノトス

本件ニツイテ慎重對策討究中ナリ追ツテ具体策ヲ提示シテ何分ノ御指示ヲ得度シ

七 建設地盤

八 土地 直化水定河畔ニ約五萬坪ノ土地拂下ケ相受ク

九 建物 糧米口事務所

預本公司請員ノ下ニ七月着工

東安大街二三號ニ於テ建築中ニシテ近ク竣工ノ見込ナリ

直化本町並ニ工場

事務所、倉庫、倉庫所、外埠等潜水租ノ請員ニテ九月着工

二月迄ニハ竣工ノ確定ナリ

本工場ハ目下東京久保田建築事務所ニテ設計中ニシテ近ク完成見込ニ出張ノ上決定ノ速ビトナリ居レリ然ル上ハ來年三月迄ニ之レガ建設ニ必要ナル資材ノ蒐集確保ナシ改メテ入札請

六 設備

員業者ヲ定メ四月ヨリ工事を着手八月完成ノ確定

静岡縣富士紙業令泉工場ノ買収ナシ目下解体前途中ニシテ近

ク輸出許可ノ速ビトナル來春四月頃迄ニ現地ヘノ搬入ヲ完了シ七月ヨリ据付九月ニハ試運轉ニ入ル確定ナリ

五 従業員

事務所ハ一部天津東洋製紙ヨリ勸能ナル職員ノ轉用ヲ圖ルモ

多クハ現地ニ於テ採用ノ見込ナリ

夜間員ハ機械ノ維護先富士紙業ヨリ適任者多數供出ヲウケル

コトニナリ居レリ

確定人員

日本人 事務員 一五名

技師員 二〇名

四 用水

目下工場敷地内ニ於テ試掘中ノ井戸ハ數、實共ニ甲分ナク此ノ分ナレバ貯水池ノ必要ナク三ヶ所位ノ井戸ヲ使用スレバ足リルト思惟サルモ目下検討中

張大財秘第一二一號

昭和十八年三月二十五日

在張家口大日本帝國大使館事務所長  
特命全權公使 岩崎 氏 男

蒙古聯合自治政府  
總務總長 武 内 哲 夫 殿

蒙緝製紙股份有限公司設立ニ關スル件

冬平  
増次  
蒙緝製紙  
関係書類

蒙政發第一九七號ヲ以テ照會ニ係ル旨題ノ件左記條件ヲ附シ異存ナシ  
關係書類ニ記

- 一、機材ハ中古遊休ニ依リ物動割當ヲ必要トセザルコト
- 二、原料ハ地區内調辨ヲ原則トシ可及的他地域ニ依存セザルコト
- 三、所費資金ハ努メテ現地系資金ヲ参加セシムルト共ニ資金種及資金計畫ニ付概米正當ナル改訂ヲナスコト
- 四、製紙ノ配給及價格ニ付テハ蒙古政府ノ監督ニ服スルコト

興亞院蒙疆連絡部



蒙政發第一九七號

成紀七三八年三月五日

蒙古自治邦政府

總務廳長 武内 哲夫

在張家口

特命全權公使 岩崎 氏 男 俊

興亞院蒙疆連絡部

蒙疆製紙股份有限公司設立ニ關スル件

成紀七三七年十一月二十五日附ヲ以テ蒙疆製紙股份有限公司設立發起人代表原野茂一ヨリ申請ニ係ル旨趣ノ件左記諸點ヨリ觀テ機宜ヲ得タルモノト認メラルルヲ以テ認可スル方針ナルニ付事別及連絡

記

一、地區内消費製紙ノ自給確立ヲ以テ輸入ノ抑制ヲ計ルコト

興亞院蒙疆連絡部

一、華北ヨリノ製紙獲得ハ華北自體不足ヲ來タシ居ル現状ニ據ミ將來ニ於テ入手困難ナルコト

一、地區内ニ於ケル廢紙ヲ利用シ價值アランメルコト

一、機材ハ全部中古遊休ノモノニシテ物資動員計畫ニ依ル割當ヲ必要トセザルコト

尙申請計畫中廢紙ノ回收ニ就テハ此ニ蒙疆バルブニ案所ニ於テ處理シアルニ鑑ミ兩社ニ於テノ買漁ニ依ル高騰ヲ防止スル目的ヲ以テ消除スルヲ要ス

又資本金九萬五千圓トシ借入金八拾五萬五千圓合計九拾五萬圓ヲ以テ事業開始セントスルモ將來正當ナル資本金ニ改訂スルヲ適當ト思科ス

附 件

蒙疆製紙股份有限公司設立許可申請書 二 部

鐵道製紙股份有限公司設立許可申請書

創立發起人代表  
原野

茂

一

研-0613

蒙疆製紙股份有限公司設立許可申請書

設立發起人代表 原野茂一

今般發起人等相計リ首題公司設立致度ニ付格別ノ御詮議ヲ以テ御認可被成  
下度左記關係事項相添へ此段申請候也

記

- 一、設立趣意書
- 二、設立要綱
- 三、事業目論書
- 四、收支豫算書
- 五、定款
- 六、發起人履歷書
- 七、技術者履歷書
- 八、發起人代表へ對スル委任狀
- 九、建築並ニ機械ノ設計圖

成紀七三七年十月一日

蒙古聯合自治政府  
察南政廳長管 陳玉銘 殿

一、設立趣意

紙ノ消費ハ一國文化發達ノ指標ナリト稱セラル、處、我ガ蒙疆地方ニ於ケル紙ノ需要量ハ推定年額九百萬封度ニ及ビ而モ近時教育ノ普及、文化ノ向上、經濟ノ進展ニ伴ヒ紙ノ需要ハ年々激増ノ趨勢ニ在リ

而シテ之等ノ紙類ハ凡テ日本内地又ハ華北方面ヨリ輸入シツ、アリテ之ガ爲メノ放出決済資金モ亦年々少カラザルノミナラズ地區内ニテハ紙類ノ生産少ナキ爲メ輸入漸減ニ伴フ紙價ノ騰貴ヲ招來シテ通貨ノ價値維持ニ逆行現象ヲ露呈シ或ヒハ紙飢饉ハ特需、官民需ヲ不問事務ノ進捗ヲ阻害スルニ至ル可ク差當リ需要最モ多キ一般印刷用紙、吏紙、包装用紙等ヲ多少共自給シ得ルニ於テハ蒙疆ノ經濟文化ニ寄與スルコト蓋シ少カラザルモノアリト信ス

元來蒙疆地方ニ於ケル車部、諸官署、國策會社其他大會社銀行ニ於ケル紙ノ消費ハ相當莫大ナルモノニシテ從ツテ其ノ使用済廢紙ノ最モ多量ニ上ル處、防禦謀略上之ガ措置ニハ極メテ慎重ヲ期セザルカラザルモノニシテ資源變護上再生利用スルコト、セハ正ニ一石二鳥ノ好策ニシテ近日本内地ニ於テハ陸海軍省ヲ初メトシ各官公署ニ於テモ既ニバルフ化ヲ實行又ハ獎勵シ居ルノ現狀ニアリ

就蒙疆ニ於テモ最モ手近ナルバルブ資源トシテ各官公署、車部、大會社銀行ノ廢紙ノ部下ヲ受ケ之ヲ材バルブ又ハ代用バルブニ混入シ操業第一年度ニ於テ差當リ需要最モ多キ印刷紙、吏紙、有光紙、包装用紙等約參百餘萬封度（約一、五〇〇屯）ノ抄造ヲナシ吏ニ第一期計畫ノ備ヲ俟ツテ第二期計畫トシテ製紙用原料葦バルブノ自家製造ヲナシ生産原價ノ低廉ト原料ノ確保ヲ圖リ以テ蒙疆地區内製紙自給抄制ノ一端ニ資セントス

二、蒙疆製紙股份有限公司設立要綱

- 一、會社ノ組織  
蒙疆普通法人
- 二、會社ノ名稱  
蒙疆製紙股份有限公司
- 三、本社及工場設置場所  
本社 張家口特別市  
工場 張家口特別市南菜園工場街
- 四、資本金  
蒙疆法幣九萬五千圓（全額拂込）
- 五、設立發起人  
代表 原野茂一
- 六、營業權目  
1 紙ノ製造販賣  
2 ハルブノ製造  
3 前號ニ附帶スル事業及投資
- 七、製品名  
印刷用紙、包裝用紙、和紙、製紙用原料パルプ
- 八、製品販賣先  
蒙疆、華北政府ノ指令先
- 九、原料ノ調達方法  
主要原料ハ屑紙、楮、麻屑竝ニパルプ又ハ代用パルプニシテ大部分ハ現地調辦ヲ以テ自給シ一部ヲ北支、滿洲ヨリ取得ス
- 一〇、資材ノ調達方法  
建築資材及生産設備機材共ニ蒙疆地區内ニ於テ之ヲ調達又ハ製作ス  
已ヲ得サルモノハ之ヲ華北又ハ滿洲ヨリ取得ス
- 一一、資金調達方法  
現地資金及借入金ヲ以テ賄フモノトス
- 一二、操業開始期  
許可後十ヶ月乃至一ヶ年ニシテ運轉開始ス

三、事業目録

一、工場所在地

張家口特別市南菜園工場街

二、製品別生産豫定数量

1 第一期計量（操業第一年度）

印刷用紙（年間） 二三〇萬封度（更紙、純白片艶紙）

包装用紙（〃） 五〇萬〃（有光紙、ハトロン紙）

和紙（〃） 五〇萬〃（毛紙）

計 三三〇萬〃

2 第二期計量（操業第二年度）

第一期計量完備ヲ俟ツテ製紙原料パルプノ自家製造ヲ兼營スルモ  
ノトス

三、生産設備並主要機材入手方法

1 土地並主要建物 二五九、〇〇〇圓

名稱	金額	摘要
土地買収費	一、五〇〇、〇〇〇圓	五、〇〇〇坪
事業費	二、四〇〇、〇〇〇	六〇坪煉瓦積ミ平屋建
工場並倉庫建築費	一、五〇〇、〇〇〇	五〇〇坪煉瓦積ミ平屋建
煙突	一、〇〇〇、〇〇〇	一基 煉瓦積
井戸	二、〇〇〇、〇〇〇	二眼
用水タンク	二、〇〇〇、〇〇〇	コンクリート
其他	二、〇〇〇、〇〇〇	
計	二、五九〇、〇〇〇	

2 主要機械設備

四八六、〇〇〇圓

機械名	数量	単價	金額	摘要
抄紙機	一	二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	六〇吋丸網抄紙機
スクリーン	二	一、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	ゴーザム式
ビーター	五	一、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	容量 五〇〇封度
ポーター	一	二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	容量 二〇〇封度

名 稱	數量	入手像定所	中古品別	爲替ノ有無	摘 要
普通鋼々材	ニトン	華北 日本			建築用
鉄 鐵	三トン	"			鑄鐵管用
銅	〇ニトン	華北	中古品		金網用
セメント	三トン	華北 蒙疆北			建築竝機械設備用
釘		"			建築用
針 金		"			"
荷造用帶鋼	一トン	"			荷造り用
工業用糸下	ニトン	"			抄紙用毛布作製用

ロ。主要資材

名 稱	數量	入手像定所	中古品別	爲替ノ有無	摘 要
ドライヤー	一	華北	中古品		現地ニテ製作スル抄紙機ノ主要部分
スクリー	ニ	"			砕ハ現地ニテ製作
フライバー	五	"			ピーターノ主要部分
ホイラー	一	"			
ニータ	一	"			
モータ	一	"			
ポンプ	八	"			

イ。機 械

エ。主要機材竝入手方法

計	工 具 類 其 他	什 器 備 品	ボ ン プ	モ ー タ ー	ボ イ ラ ー	ニ ー タ ー
	一		八		一	一
				三〇〇〇	五〇〇〇	一七〇〇〇
						一七〇〇〇
	二〇〇〇		二四〇〇	八四〇〇	五〇〇〇	一七〇〇〇
四八六〇〇	二〇〇〇		二四〇〇	八四〇〇	五〇〇〇	一七〇〇〇
				延 四〇〇馬力		五トン型

4 起 業 費

九五〇、〇〇〇圓

費 目	金 額	摘 要
土地建物費	二五九〇〇〇圓	
機械設備費	四八六〇〇〇圓	
創立費	五〇〇〇〇	
營業運轉資金	二〇〇〇〇〇	
計	九五〇〇〇〇	

5 資金調達方法

項 目	金 額	摘 要
事業資金	七五〇〇〇〇圓	
運轉資金	二〇〇〇〇〇圓	
合計	九五〇〇〇〇	
調達方法		全額蒙疆又ハ華北ニテ調達ス
株式拂込	九五〇〇〇〇	全額拂込
借入	八五〇〇〇〇	蒙疆又ハ華北
合計	九五〇〇〇〇	

6 主要原料購入地並方法

原 料 名	数 量	単 價	金 額	摘 要
ハル	三五〇トン	一〇〇〇圓	三五〇〇〇圓	對滿、華期待
屑紙、楮、麻屑	一七五〇	五〇〇	八七五〇〇〇	現地調辦

ハルプハ操業 二年度ニ於テハ黄河沿岸其他蒙疆地区内ニ於テ野生スル葦ヲ自家工場ニ於テ處理シ葦ヨリハルプヘ、ハルプヨリ紙ヘ一貫作業ヲナシ以テ原料ノ確保並生産原價ノ低減ヲ計ル方針ナリ

本計畫ハ操業 一年ノ整備ヲ俟ツテ着手ノ豫定ナリ  
屑紙、楮、麻屑等ハ蒙疆地区内ニ於テ蒐集調達シ所製數量確保ノ見込ミ充分ナリ

7 製造並販賣ノ方法

1 製造方法

原料カラ製品迄ノ工程ハ紙ノ種類ニ從ヒ一ニ行カヌカ先ツ製品ノ種類ニ依リ適當ナ紙料ヲ選擇シ之ヲ叩解機（ビーター）ニ投シ適度ニ叩キ之ニ填料（クレイ、タルク類）サイヌ（松脂、硫酸簪土）染料等



ヲ加ヘ十分混和シ抄造ノ半紙料ヲ得ル、次ニ之ヲ多量ノ水テ稀釋シ  
除渣機（スクリーン）ヲ通過セシメ灰雜物ヲ除キ廻轉スル金網上ニ  
テ水ヲ濾過シ壓搾乾燥シテ水分ヲ除キ卷取機テ卷取り所要ノ大サニ  
斷裁シテ製造工程ヲ終ル

2 販賣方法

自家販賣又ハ監督官廳ニ於テ指示セラレタル販賣業者ニ委託販賣ス

四、收支豫算

収入之部

一、金二百七拾三萬五千圓也

製品名	數量	單價	金額	摘要
印刷洋紙	二、三〇〇、〇〇〇封度	八五圓	一九五、〇〇〇圓	史紙、純白片艶紙
包裝紙	五〇〇、〇〇〇	八〇	四〇、〇〇〇	有光紙、ハトロン紙
和紙	五〇〇、〇〇〇	八五	四二、五〇〇	毛紙
計	三、三〇〇、〇〇〇		二七八、〇〇〇	

支出之部

一、金二百五拾參萬二千圓也

目	數量	單價	金額	摘要
原料費			一五六、〇〇〇圓	
ハルブ	三五〇	一、〇〇〇圓	三五〇、〇〇〇	
麻紙、襪襪	一七五〇	五〇〇	八七五、〇〇〇	
晒粉	二〇〇	八〇〇	一六〇、〇〇〇	
松脂	三〇	四、五〇〇	一三五、〇〇〇	
硫酸礬土	六〇	五〇〇	三〇、〇〇〇	
染料其他			一〇、〇〇〇	
材料費			二四九、〇〇〇	
用具費			一〇〇、〇〇〇	毛布、金網、其他用具
荷造費			一〇〇、〇〇〇	當板、帶鐵等
其他材料			四九、〇〇〇	
製造費			二八一、〇〇〇	

計	雜費	仕拂利息	償却費	販費及	事務及	其他	補修費	人件費	仕費	石炭	電力費
155,700	30,000	17,000	114,000	30,000	5,000	8,000	2,000	5,000	5,000	8,000	1,000
	諸税公課、其他雜費	運轉資金20萬圓ノ八、五%	建物十年、機械五年創立費五年	人件費、通信費、筆墨費庶費 家賃廣告費、交最費、研究費其他							一日3500キロ30日 操業 0セ卜假定ス

差引利益金  
一金二拾二萬參千圓也

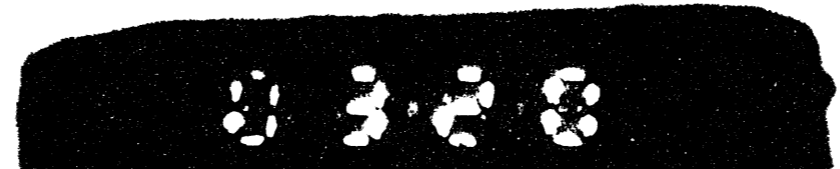
利益金處分案

計	後期繰越金	役員賞與金	退職給與積立金	工場擴張準備金	特別積立金	法定積立金	配當金
113,000	3,000	30,000	20,000	9,000	40,000	30,000	9,500
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓

XXXXXXXXXX  
X 定 X  
XXXXXXXXXX  
X 款 X  
XXXXXXXXXX

家  
繼  
製  
紙  
股  
份  
有  
限  
公  
司

研-0 6 1 3



定 款

第一章 總 則

- 第一條 本公司ハ蒙疆製紙股份有限公司ト稱ス
- 第二條 本公司ハ本店及工場ヲ張家口特別市ニ置キ尙必要ノ地ニ工場及ヒ支店ヲ設置スルコトヲ得
- 第三條 本公司ハ左ノ業務ヲ營ムヲ以テ目的トナス  
一、各種バルブ及紙類ノ製造販賣  
二、前號ニ附帶スル事業並投資
- 第四條 本公司ノ資本金ハ蒙疆法幣九萬五千圓トス
- 第五條 本公司ノ公告ハ蒙疆新聞ニ掲載ス
- 第二章 株 式
- 第六條 本公司ノ株式總數ハ壹千九百株ニシテ壹株ノ金額ハ五拾圓トス
- 第七條 本公司ノ株式ハ記名式トシ株式ノ種類ハ壹株券、拾株券、百株券ノ三種トス
- 第八條 本公司ノ株主ハ日本帝國、中華民國又ハ滿洲帝國人ニ限ル
- 第九條 株式ハ全額拂込トス
- 第十條 株金ノ拂込ヲ欲リタル株主ハ拂込期日ノ翌日ヨリ拂込當日迄其ノ拂込ムヘキ金額ニ對シ百圓ニ付キ日歩四錢ノ割合ヲ以テ遅延利息ヲ支拂ヒ且其ノ爲生シタル會社ノ損害ニ對シ賠償ノ責ヲ負フモノトス
- 第十一條 株式ノ名義書換ヲ爲サントスル者ハ本公司所定ノ名義書換請求書ニ株券ヲ添附シ本公司ニ提出スヘシ但シ相續、遺贈其ノ他法律上ノ原因ニ因リ株式ヲ取得シタルモノハ別ニ其ノ事實ヲ證スヘキ書類ヲ添付スヘシ
- 第十二條 株券ノ毀損又ハ種類變更ノ爲新株券ノ交付ヲ受ケントスル者ハ本公司所定ノ請求書ニ株券ヲ添附シ之ヲ本公司ニ提出スヘシ
- 第十三條 株券ノ喪失ニ因リ再交付ヲ受ケントスルモノハ本公司所定ノ請求書ニ其ノ事由並株券ノ種類、番號ヲ明記シ本公司ノ適當ト認ムル證人二名以上ノ連署ヲ以テ本公司ニ提出スヘシ此ノ場合公司ハ

請求者ノ費用ヲ以テ引續キ二日以上廣告シ最終廣告ノ日ヨリ三十日ヲ経過スルモ異議申立ヲ爲ス者ナキトキハ新株券ヲ交附シ爾後舊株券ハ之ヲ無効トス

第十四條 株券ノ名義書換、新株券ノ交附及株券種類ノ變更ニ付テハ左ノ手数料ヲ徴收ス

一、株式名義書換 株券一枚ニ付 壹角  
二、新株券ノ發行 五角

第十五條 株主又ハ其ノ法定代理人ハ其ノ氏名、住所及印鑑ヲ本公司ニ届出ツヘシ其ノ變更アリタルトキ亦同シ

第十六條 本公司ハ定時株主總會開催ノ通知ヲ發シタル日ヨリ該定時株主總會終結ノ翌日迄株式ノ名義書換ヲ停止ス  
前項ノ外必要アルトキハ豫メ廣告ヲ爲シ名義書換ヲ停止スルコトアルヘシ

### 第三章 株主總會

第十七條 本公司ノ株主總會ハ定時及臨時ノ二種トシ定時株主總會ハ毎年二月及八月之ヲ招集シ臨時株主總會ハ必要ニ應ジ之ヲ招集ス

第十八條 總會ノ議長ハ董事長之ニ任ス董事長事故アルトキハ常務董事之ニ當リ董事長、常務董事共ニ事故アルトキハ董事中ノ一人之ニ任ス

第十九條 本公司ノ株主ハ一株ニ付一箇ノ議決權ヲ有ス但シ十一株以上ハ三株ヲ増ス毎ニ一箇トス

第二十條 株主ハ代理人ニ委任シテ議決權ヲ行使スルコトヲ得但シ代理人ハ其ノ法定代理人又ハ本公司ノ株主タルコトヲ要ス此場合委任シタル株主ヲ出席シタル株主ノ員數ニ算ハス

第二十一條 株主總會ノ議決ハ法令ニ別段ノ定メアル場合ヲ除ク外出席株主ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス但シ議長ハ之カ爲自己ノ議決權ノ行使ヲ妨ケラルルコトナシ  
第二十二條 株主總會ニ於ケル議事要領ハ決議録ニ記載シ議長並出席シタル株主二名之ニ記名捺印シ公司ニ保存ス

### 第四章 役員

第二十三條 本公司ニ董事六名、監察人二名以内ヲ置ク

第二十四條 董事及監察人ハ本公司ノ株主五十株以上ノ株主中ヨリ株

主總會ニ於テ之ヲ選任ス

第二十五條 董事ノ任期ハ三年、監察人ノ任期ハ一年トシ任期カ其ノ任期中ノ最終ノ決算期ニ關スル定時總會前ニ滿了スヘキトキハ其ノ總會ノ終結ニ至ル迄其ノ任期ヲ伸長ス

第二十六條 董事又ハ監察人中ニ缺員ヲ生シタルトキハ株主總會ヲ召集シテ之カ補缺選舉ヲ行フ但シ法定員數ヲ缺カサルトキハ次ノ株主總會又ハ改選期迄補缺選舉ヲ行ハサルコトヲ得

補缺選舉ニ依リ選任シタルモノノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

増員セラレタル役員ノ任期ハ先任役員ト同一トス

第二十七條 本公司ハ董事ノ互選ニ依リ董事長並常務董事若干名ヲ選出ス

第二十八條 董事長ハ公司ヲ代表シ業務ヲ綜理ス

常務董事ハ董事長ヲ補佐シ董事長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代行ス

監察人ハ公司ノ業務ヲ監査ス

第二十九條 常務ニ從事スル役員ハ董事會ノ承認ヲ受クルニ非サレハ他ノ業務ニ從事スルコトヲ得ス

第三十條 董事ハ董事會ヲ組織シ業務ニ關スル重要事項ヲ議決ス

第三十一條 董事會ノ議長ハ董事長之ニ任ス

董事會ノ議事ハ組織各半數以上出席シ其ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可  
否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第三十二條 董事ハ在任中各其ノ所有株式五拾株ヲ監察人ニ供託スヘシ但シ任期中解任セラレタル場合ト雖モ其ノ期ノ定時株主總會ニ提出ノ議案承認後ニ非サレハ之ヲ返還セス

第三十三條 董事及監察人ノ報酬及手當ハ株主總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第三十四條 董事會ノ決議ニ依リ本公司ニ顧問ヲ置クコトヲ得

第五章 會計

第三十五條 本公司ノ營業年度ハ一月一日ヨリ六月三十日迄ヲ上期トシ七月一日ヨリ十二月三十一日迄ヲ下期トシ各其ノ末日ヲ以テ決算期トス

第三十六條 各決算期ニ於ケル總益金ヨリ總損金及從業員退職給與積

立金ヲ控除シタル殘額ヲ利益金トシ左ノ如ク處分ス但シ特別積立金ノ積立又ハ後期繰越ヲ爲スヲ妨ケス

一、法定積立金 百分ノ十以上

一、役員賞與金 若 干

一、株主配當金 若 干

第三十七條 株主配當金ハ毎決算期末日現在ノ株主ニ之ヲ配當ス但シ配當金支拂開始ノ日ヨリ滿五箇年以内ニ之カ支拂ノ請求ナキトキハ公司ノ所得ニ歸ス株主ハ配當ニ就キ利子ヲ請求スルコトヲ得ス

附 則

第三十八條 本公司ノ負擔ニ歸スヘキ設立費用ハ五千圓以内トス  
第三十九條 本公司ノ發起人住所氏名及其ノ引受株數左ノ如シ



以下、陳年文  
増設  
更

畿 臨 製 紙 股 份 有 限 公 司 設 立 發 起 人

- 北京特別市黃化門大街二十二號 原 野 茂 一
- 五〇〇株
- 神戸市葦合區上箇井五丁目三番地 長 谷 川 正 一
- 二〇〇株
- 神戸市葦合區籠池浦二丁目八番地上ノ七番屋敷 小 田 萬 藏
- 五〇〇株
- 北京市東四四條胡同四號 李 受 之
- 二〇〇株
- 福岡縣門司市上本町一丁目 福 井 敬 三
- 二〇〇株
- 北京市東交民巷三五號 高 橋 一 穂
- 二〇〇株
- 天津市外灰捲鎮東洋製紙工業株式會社內 桑 畑 齋 二
- 一〇〇株



五、定 款

第一章 總 則

第一條 本公司ハ東洋鐵道株式會社ト稱ス

第二條 本公司ハ本店及工廠ヲ直轄シ直轄省直化ニ附キ尙必要ノ地ニ工場及ヒ支店・事務所ヲ設置スルコトヲ得

第三條 本公司ハ左ノ業務ヲ營ムヲ以テ目的トナス

一 各種バルブ及鐵道ノ製造取組

二 前號ニ附帶スル事業取組

第四條 本公司ノ資本額ハ東洋鐵道株式會社千萬元トス

第五條 本公司ノ公積金額尙未定ニ爲ル

第二章 株 式

第六條 本公司ノ株式種類ハ貳種ニシテ壹種ノ金額ハ五百圓トス

第七條 本公司ノ株式ハ記名式トシ株式ノ種類ハ指株券、白株券ノ二種トス

第八條 本公司ノ株主ハ日本帝國、中華民國又ハ滿洲帝國人ニ限ル

第九條 株式ハ金額拂込トス

第十條 株券ノ拂込ヲ怠リタル株主ハ拂込期日ノ翌日ヨリ拂込當日迄其ノ拂込ムヘキ金額ニ對シ白面ニ付キ日歩四錢ノ割合ヲ以テ遅延利息ヲ支拂ヒ且其ノ爲生シタル會社ノ損害ニ對シ賠償ノ責ヲ負フモノトス

第十一條 株式ノ名義書換ヲ爲サントスル旨ハ本公司所定ノ名義書換請

求書ニ株券ヲ添付シ本公司ニ提出スヘシ但シ附屬、遺留其ノ他法律上ノ原因ニ依リ株式ヲ取得シタルモノハ別ニ其ノ事項ヲ定スヘキ書類ヲ添付スヘシ

第十二條 株券ノ毀損又ハ冒濫疑有ノ爲新株券ノ交付ヲ受ケントスル旨ハ本公司所定ノ請求書ニ株券ヲ添付シ之ヲ本公司ニ提出スヘシ

第十三條 株券ノ喪失ニ因リ再交付ヲ受ケントスルモノハ本公司所定ノ請求書ニ其ノ事項及株券ノ種類、番號ヲ明記シ本公司ノ適當ト認ムル

証人二名以上ノ連署ヲ以テ本公司ニ提出スヘシ此ノ場合公司ハ請求者

ノ費用ヲ以テ引續キ二日以上成皆シ成終廣告ノ日ヨリ三十日ヲ經過ス

ルモ其後申立ヲ爲ス者ナキトキハ新株券ヲ交付シ爾後舊株券ハ之ヲ無効トス

第十四條 株券ノ名義書換、新株券ノ交付及株券湮滅ノ變更ニ付テハ左ノ手續ヲ取ス

一 株式名義書換 株券一枚ニ付 壹角

二 新株券ノ發行 五角

第十五條 株主又ハ其ノ法定代理人ハ其ノ氏名、住所及印鑑ヲ本公司ニ届出ツヘシ其ノ變更アリタルトキ亦同シ

第十六條 本公司ハ定時株主總會開催ノ通知ヲ發シタル日ヨリ該定時株主總會終結ノ翌日迄株式ノ名義書換ヲ停止ス

前項ノ外必要アルトキハ該メ廣告ヲ爲シ名義書換ヲ停止スルコトアルヘシ

第三章 株主總會

第十七條 本公司ノ株主總會ハ定時及臨時ノ二種トシ定時株主總會ハ毎年二月及八月之ヲ招集シ臨時株主總會ハ必要ニ據シ之ヲ招集ス

第十八條 總會ノ議長ハ該總會之ニ任ス或該議長被選アルトキハ常務董事之ニ當リ董事長、常務董事共ニ被選アルトキハ該會中ノ一人之ニ任ス

第十九條 本公司ノ株主ハ一株ニ付一箇ノ議決權ヲ有ス但シ十一株以上ハ三株ヲ増ス毎ニ一箇トス

第二十條 株主ハ代理人ニ委任シテ議決權ヲ行使スルコトヲ得但シ代理人ハ其ノ法定代理人又ハ本公司ノ株主タルコトヲ要ス此場合委任シタル株主ヲ出席シタル株主ノ員數ニ算入ス

第二十一條 株主總會ノ決議ハ法令ニ抵触ノ程メアル場合ヲ除ク外出席株主ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス但シ議長ハ之カ爲自己ノ議決權ノ行使ヲ妨クフルコトナシ

第二十二條 株主總會ニ於ケル議事要領ハ決議ニ記載シ議長或出席シタル株主二名之ニ記名捺印シ公司ニ保存ス

第二十三條 本公司ニ董事七名、監察人二名以内ヲ置ク

第二十四條 董事及監察人ハ本公司ノ株主五十株以上ノ株主中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選任ス

第二十五條 董事ノ任期ハ三年、監察人ノ任期ハ二年トシ任期カ其ノ任期中ノ或時ノ決算期ニ屆スル定時總會前ニ満了スヘキトキハ其ノ總會ノ終結ニ至ル迄其ノ任期ヲ伸長ス

第四條 役員

第二十三條 本公司ニ董事七名、監察人二名以内ヲ置ク

第二十四條 董事及監察人ハ本公司ノ株主五十株以上ノ株主中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選任ス

第二十五條 董事ノ任期ハ三年、監察人ノ任期ハ二年トシ任期カ其ノ任期中ノ或時ノ決算期ニ屆スル定時總會前ニ満了スヘキトキハ其ノ總會ノ終結ニ至ル迄其ノ任期ヲ伸長ス

第二十六條 董事又ハ監事人中、缺員ヲ生シタルトキハ株主總會ヲ召集シテ之カ補缺選舉ヲ行フ但シ法定員數ヲ缺カサルトキハ次ノ株主總會又ハ改選期迄補缺選舉ヲ行ハサルコトヲ得

第二十七條 補缺選舉ニ依リ選任シタルモノノ任期ハ前任者ノ任期期間トス

第二十八條 常務董事ハ董事長ハ公司ヲ代表シ業務ヲ綜理ス

第二十九條 常務ニ從事スル役員ハ董事會ノ承認ヲ受クルニ非サレハ他ノ業務ニ從事スルコトヲ得ス

第三十條 董事會ハ董事會ヲ組織シ業務ニ關スル重要事項ヲ議決ス

第三十一條 董事會ノ議長ハ選舉長之ニ任ス

第三十二條 董事ハ在任中各其ノ所有株式五拾株ヲ監事人ニ供託スヘシ但シ任期中解任セラレタル場合はト雖モ其ノ期ノ定時株主總會ニ提出ノ

議案承認後ニ非サレハ之リ返還セス

第三十三條 董事及監事人ノ報酬及手當ハ株主總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第三十四條 董事會ノ決議ニ依リ本公司ニ預金ヲ附クコトヲ得

第三十五條 本公司ノ營業年度ハ一月一日ヨリ六月三十日迄ヲ上期トシ七月一日ヨリ十二月三十一日迄ヲ下期トシ各其ノ末日ヲ以テ決算期トス

第三十六條 各決算期ニ於ケル繰上金ヨリ配當金及従業員退職給與償立

金ヲ控除シタル後額ヲ利益金トシ左ノ如ク處分ス但シ特別償立金ノ償立又ハ後期繰上金ヲ妨ケス

一 法定償立金 百分ノ十以上

一 役員賞與金 若干

一 株主配當金 若干

第三十七條 株主配當金ハ毎決算期末日現在ノ株主ニ之ヲ配當ス但シ配

當分支拂開始ノ日より滿五箇年以内ニ之カ支拂ノ請求ナキトキハ公司ノ所得ニ歸ス休至ハ此當分ニ既キ利子ヲ請求スルコトヲ得ス

附 則

第二十八條 本公司ノ負擔ニ歸スヘキ設立費用ハ五千圓以内トス  
第二十九條 本公司ノ發起人住所氏名及其ノ引受株數左ノ如シ

家鐵製鐵股份有限公司設立發起人

北京特別市黃化門大街二十二號

一〇〇〇株 原 野 茂 一

一〇〇〇株 原 野 茂 一

五〇〇株 長谷川 正 一

一〇〇株 呂府市大泥甲園町三十六番地 謝 見 華 一

一〇〇株 北京黃化門大街二十二號 原 野 茂 一

一〇〇株 原 野 茂 一

北京特別市前門外德勝門外四號

五〇株 弟 甲 相

北京特別市内三編後波樓大街五號

五〇株 王 子 元

北京黃化門大街二十二號

一〇〇株 高 木 光 貞



收支豫算書

収入之部

「金一二、七八〇、〇〇〇圓

印刷用紙	2,400,000 封度	110	264,000 圓
包装用紙	1,100,000	110	121,000
和紙	1,500,000	110	165,000
合計	5,000,000 封度		540,000 圓

支出之部

「金九、八五〇、〇〇〇圓

(A) 原料費

破布麻屑	200 屯	400 圓	80,000 圓
ソノ他ノ代用纖維	400	100	40,000 圓
紙屑ニターバル	200	400	80,000 圓
バル	400	1000	400,000 圓
晒粉	400	200	80,000 圓
松脂	400	1000	400,000 圓
硫酸バン土	100	400	40,000 圓

石灰	100 屯	40 圓	4,000 圓
----	-------	------	---------

硫酸			100,000
----	--	--	---------

染料			100,000
----	--	--	---------

タモ			100,000
----	--	--	---------

苛性又ハ曹達灰			40,000
---------	--	--	--------

(B) 材料費

用具費	240,000 圓		240,000 圓
-----	-----------	--	-----------

油脂費	400,000 圓		400,000 圓
-----	-----------	--	-----------

街造材料	400,000		400,000
------	---------	--	---------

ソノ他ノ材料	400,000		400,000
--------	---------	--	---------

(C) 製造費

電力費	1,140,000		1,140,000
-----	-----------	--	-----------

石炭	1,100 屯	400	440,000
----	---------	-----	---------

給水			40,000
----	--	--	--------

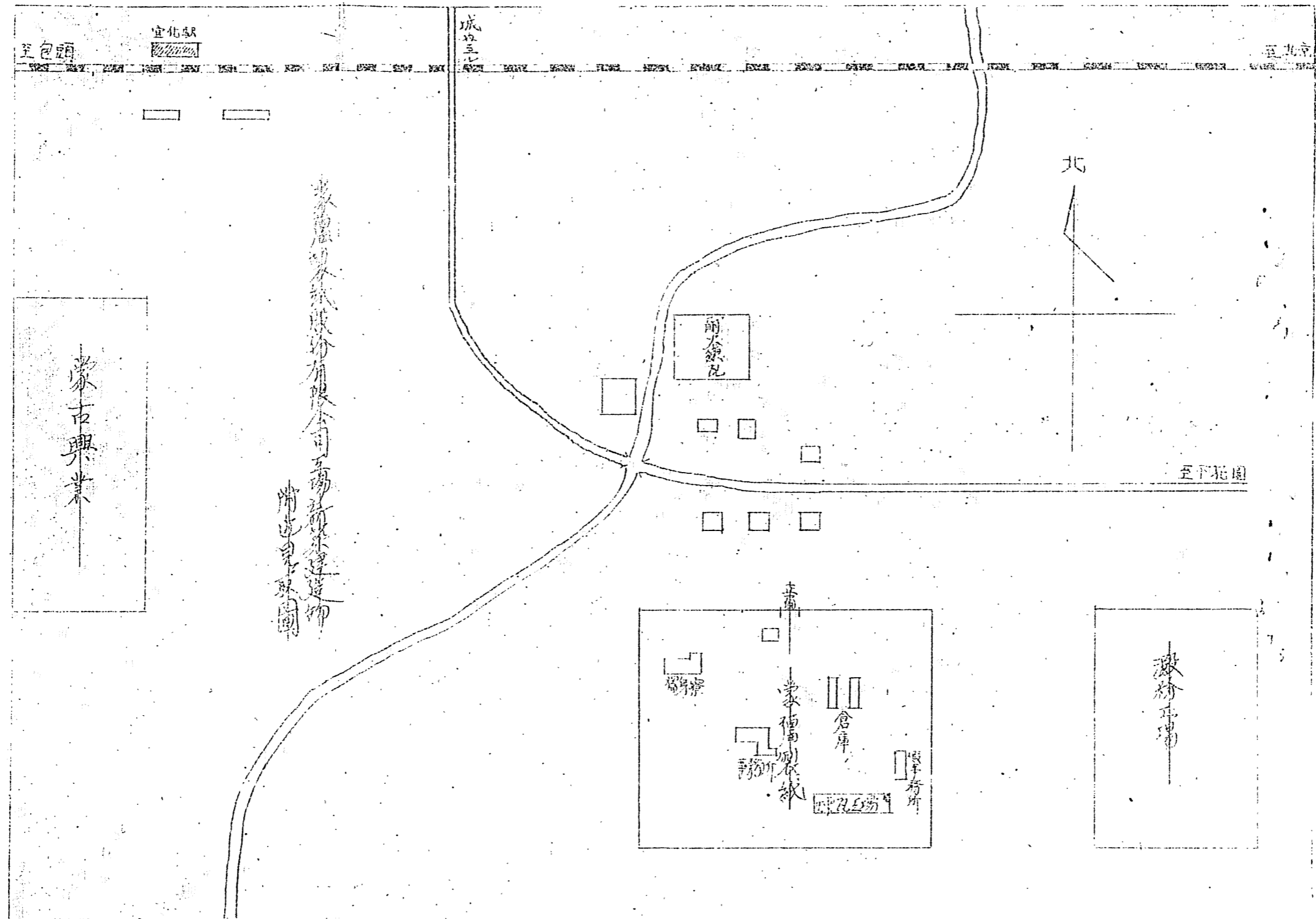
勞銀			400,000
----	--	--	---------

仕損費			100,000
-----	--	--	---------

毛布金網ソノ他ノ用具  
 シリンダ油、モビール油、マシン油  
 トランス油、石油、ガソリン等  
 當板、帶鐵其ノ他

修繕他費	1000000	円
(F) 事務費	1000000	、
(E) 販賣費	800000	、
その他	1000000	、
償却費	1000000	、
法税公課	1000000	、
差引利益金	1000000	、
一金二、九三〇、〇〇〇圓		
利益金處分案		
法定積立金	2000000	〇〇〇
別途積立金	500000	〇〇〇
配當金	1000000	〇〇〇 (一割)
従業員退職慰勞金	1000000	〇〇〇
役員賞與金	800000	〇〇〇
設備擴充準備金	500000	〇〇〇
後期繰越金	550000	〇〇〇
計	2,930,000	〇〇〇

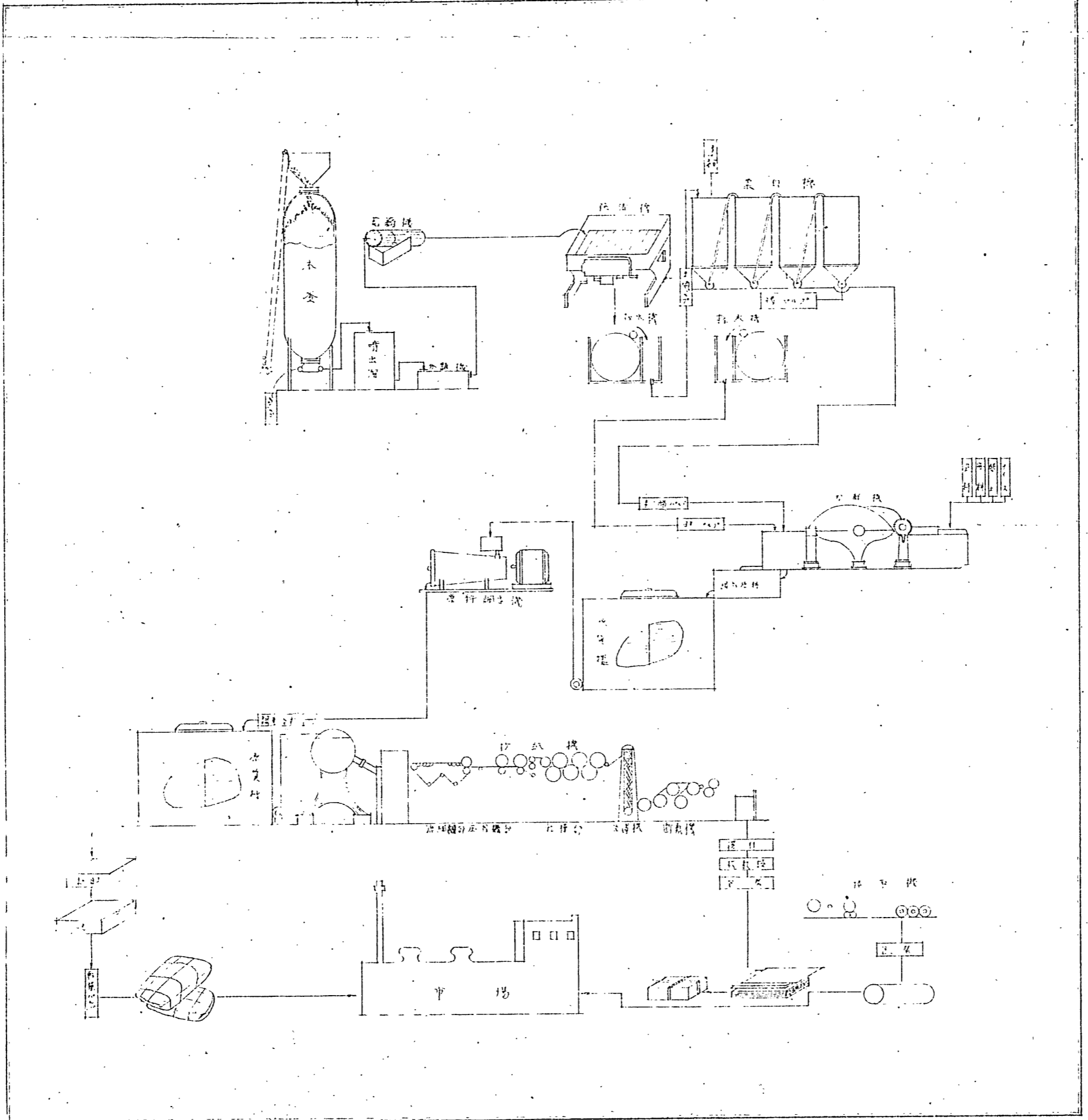
神戸・張家口事務所ノ經費モ含ム



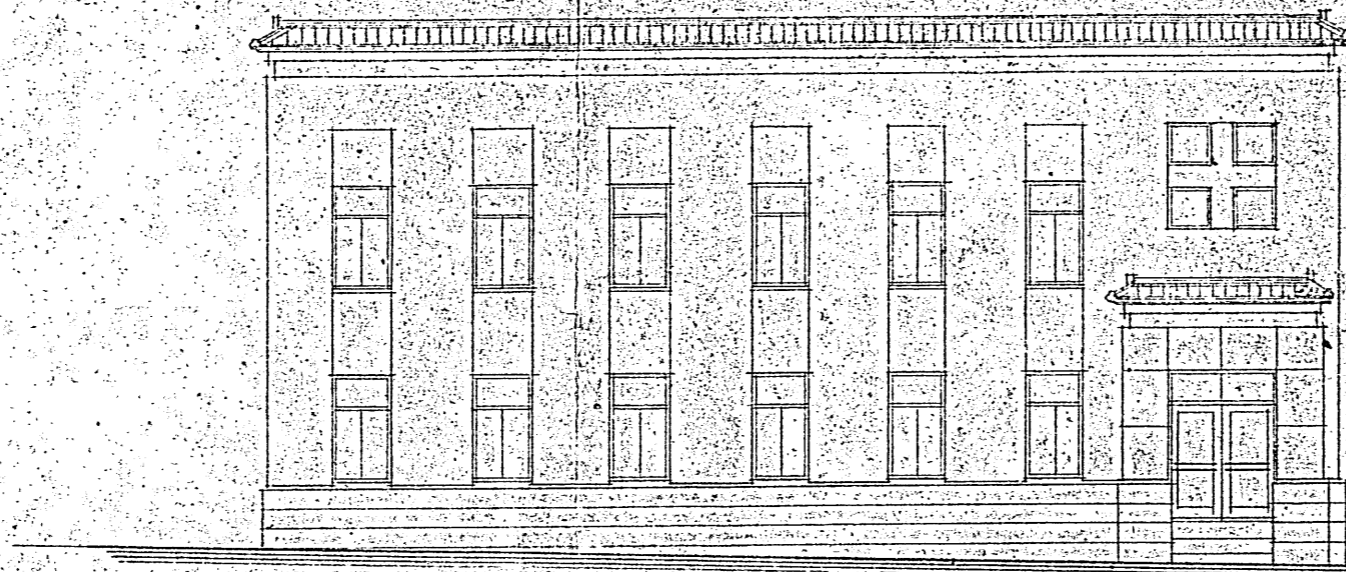
研-0613



紙製造工程



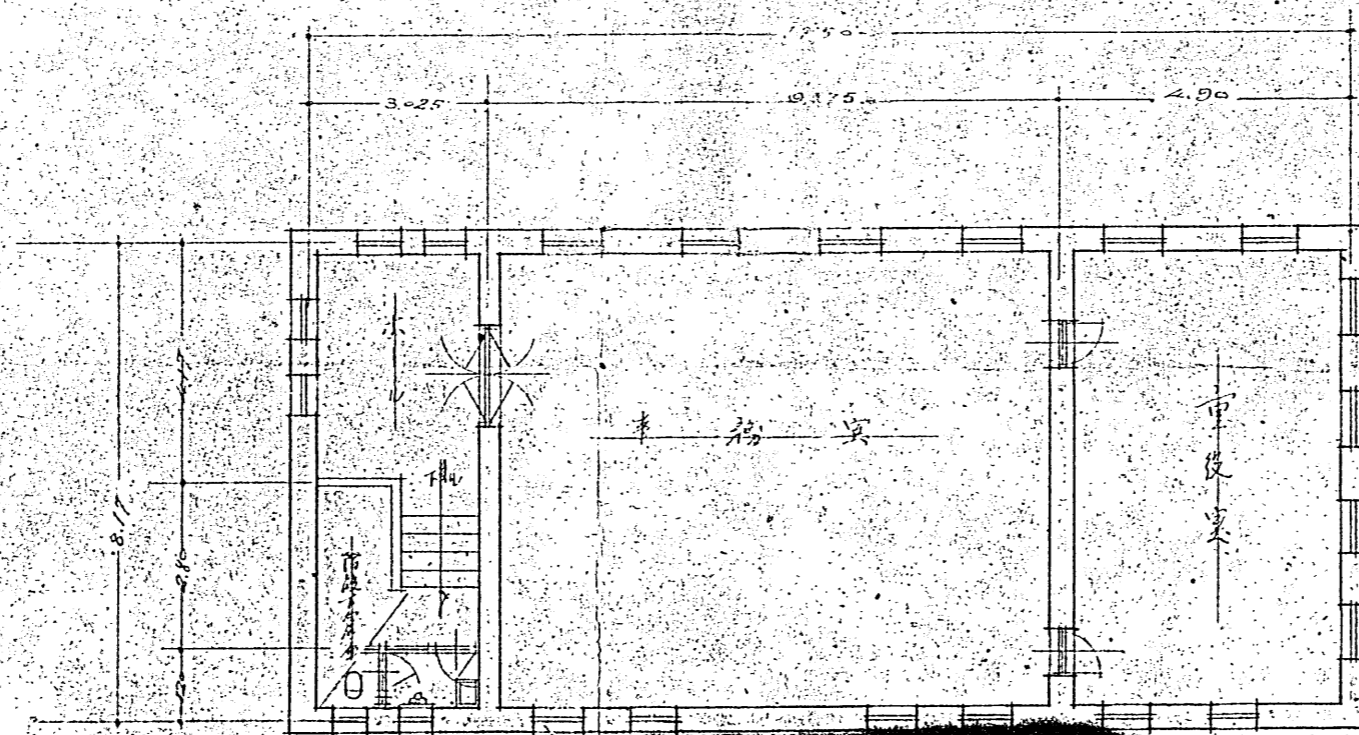
研-0613



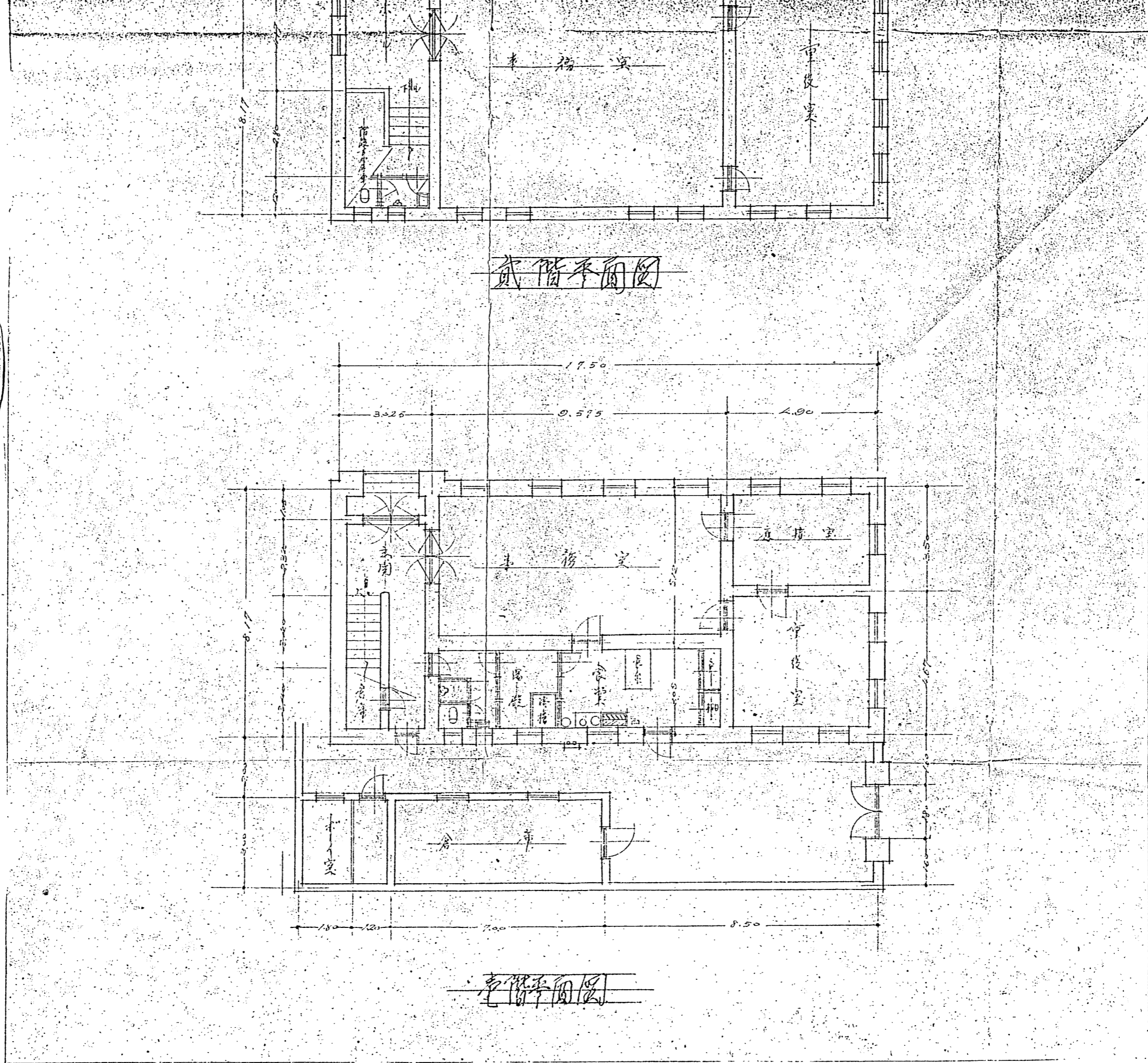
正面図

SCALE 1/100

濱木公司  
事務所設計変更図面



研-061



研-0613



秘

電信寫

大東亞省

主管、支商

昭和19 五三四三八

略 本 省

三月一日一三〇〇發  
日二三五五着

清水大東亞大臣

岩崎公使

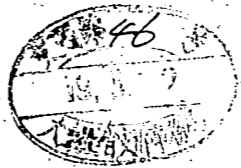
第一四八號

(蒙 鐵製紙公司增資ニ關スル件)

貴電第七二號ニ關シ

會社側ニ對シ計數の詳細提出方命シ置キタルニ付右提出アリ次第御  
同答相成度

(了)



(規格—15 東京 1209)

一月十二日附張大經普通第九一號貴信ニ關シ  
 本件計畫ハ相當膨大ニシテ資金資材共現地調  
 弁可能ナラハ格別ニ然ラザレバ戰局ノ推移ニモ  
 鑑ミ慎重考慮ヲ要スベキモノト被認ニ付左  
 記諸点ニ付計數的ニ貴見承知致度  
 一、機械ヲ除ク建設用資材ノ所要量・調達  
 先等不明ナルモ充分ナル見透アリヤ  
 二、所要原材料ノ調達(輸送ヲ含ム)ハ物動計  
 画トノ睨ミ合セニ於テ見透アリヤ

規格-B5 (東東 3.195)

總番第 572 號		局長
昭和14年2月8日(前) 8時 分發		課長
件名	轉電先	暗宛
蒙疆製紙公司増資ニ關スル件		張家口公使
記録件名	第 七 二 號	發 天 臣
		經濟課長
		商工課長
		昭和十四年二月十二日起案

規格-B5 (東東 3.195)

電信課長

發電係

支商第三二四號

<p style="writing-mode: vertical-rl;">圖 言 表</p>							<p>ノ所要期間</p>	<p>工場建設着手ヨリ製品供給開始ニ至ル迄</p>	<p>水ノ開闢ニ於テ用水ハ充分ナリヤ</p>	<p>三 宣化ヲ工場豫定地トナシ居ルモ製鐵事業等</p>	<p>尚之カ期待先トノ打合ハ済ミ居ルヤ</p>
---	--	--	--	--	--	--	--------------	---------------------------	------------------------	------------------------------	-------------------------

規格-B5 (東東 3.195)

研-0613

